

2023年9月27日

2023年度あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業において アバターロボットに関する事業を2件受託しました



ANA ホールディングス発のスタートアップである avatarin 株式会社（代表取締役 CEO：深堀 昂、以下「avatarin(株)」）は、愛知県が推進する「あいちデジタルアイランドプロジェクト」において、時間や場所に制約されない瞬間移動の実現を目的としたアバターロボットに関する事業を受託^{*1}することが決定しました。

アバターロボットを活用して、下記内容の5G等デジタル技術を活用した実証実験を実施します。

- 「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE（以下、SMS）」において、20台以上のアバターロボットを同時稼働させ、海外を含む遠隔地からのSMSへの参加等を実現
- 愛知県国際展示場、常滑市内観光地、空港施設などにおいてアバターロボットを活用した案内業務、観光地訪問などの6つのユースケースの作成

今後のアバターロボットを活用した実証実験のご案内や当日の様子などは、Web サイトにて10/5(木)から順次公開予定です。（<https://about.avatarin.com/areasolution/aichi/digital2023/>）

愛知県は、中部国際空港島及びその周辺地域において、2030年に世の中での普及が見込まれる近未来の事業・サービスを、先行して実用化することを目指す「あいちデジタルアイランドプロジェクト」を推進しています。

avatarin(株)はこのプロジェクトの下、アバターロボットの活用を通して企業・施設等の課題の解決や付加価値の創出に向けたユースケースの実証実験を実施し、5G等デジタル技術の早期普及を促進させるように事業運営を実施します。

◆スケジュールが決まっている実証事例

・学習支援の実証実験

アバターロボットを活用することにより、子どもの学習に資するような施設へ気軽にアクセスし、居住地に縛られることなく自由に学ぶ機会を創出するユースケースの実証実験を以下の通り実施します。

日 時： 2023年9月29日(金)17:00～

場 所： 常滑市 Flight of dreams (フライト・オブ・ドリームズ) (愛知県常滑市セントレア1丁目1)

参 加 者： フォルクホイスコーレ児童クラブまるの(宮崎県都城市)の小学1年生～5年生(45名程度)

実証概要： 児童がフライト・オブ・ドリームズにあるアバターロボットを遠隔操作し、航空機に関する穴埋め式ワークシートに基づき学習を行います。

実証ポイント： 本実証は、子どもの学習支援の場において、帯同する人員をつけずにアバターロボットを活用した学習の有用性や走行の安全性を検証する初めての試みとなります。本実証を通じ、ロボットの導入にかかる人員コスト削減を目指し、将来的な社会実装につなげます。

実証イメージ：



avatarin(株)は、本事業をきっかけにアバターロボットがデジタルアイランドの一つのインフラとなり、中部国際空港島及び周辺地域が高度にデジタル化されることを目指します。

※1 2023年度あいちデジタルアイランドプロジェクトの事業実施について

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-digital-island-pj/aichi-digital-island2023.html>

以上

◆avatarin(株)について

avatarin（アバターイン）株式会社は「移動の民主化～すべての人が持続的にいつでもどこでも自由に移動できるように～」を目指したANAホールディングス発のスタートアップです。これまでの移動の概念を見直し、肉体の移動ではなく、あらゆるロボットやモビリティに人の意識、技能、存在感を伝送する新たな移動サービスの普及に取り組んでいます。また、独自開発の通信プロトコルや遠隔AIモジュールなどを通じて、遠隔操作の高速化や遠隔操作からのAI化に挑戦しています。

<https://about.avatarin.com/>

◆avatarin(株)の目指す未来、今後の展開

アバター技術を活用した社会課題解決のビジョンを実現するための鍵となる技術として、「avatar core®（アバターコア）」の独自開発に取り組んでいます。ハードウェアに加え、ソフトウェア、クラウド及びAIを組み合わせることで、超低遅延で大容量の映像や音声、制御データなどをインターネット経由で高速伝送することを可能にするシステムモジュールとして、ロボットやモビリティに搭載し、遠隔制御やAI学習での活用を目指しています。

avatar core®の研究・開発において、現在は2つのプロダクト「newme（ニューミー）」及び「アバターコアハードウェアとソフトウェア」を軸に開発を進めています。

newmeは遠隔で自由に動きまわりながらコミュニケーションをとることができる遠隔AIロボットであり、2021年より水族館や美術館などで運用を始めています。今後は、国内空港をはじめ、海外空港やホテル、病院、役所、駅、コンビニなどサービス案内業務、誘導などが必要な現場を中心として順次展開をしていきます。

アバターコアハードウェアとソフトウェアについては、今後登場するさまざまなロボットや自動運転車、ドローンなどのモビリティ等に搭載していきます。遠隔からの超低遅延リアルタイム制御を実現するとともに、AI学習によって人の能力を拡張することを目指します。

世界ではロボティクスやAIによる人の作業代替を加速させる技術が注目されていますが、avatarin(株)は、人の享受する体験価値の向上に繋がる身体能力拡張のためのロボティクスやAI技術を追求しています。人が必要とする場所へ、年齢を問わず、気軽に移動することを実現するほか、これまでその人ができなかったことをアバターで能力拡張し、できるようにしていく世界を創っていきます。あらゆる人がアバターという持続可能で気軽に誰もが利用できる乗り物で未知なる場所に瞬間移動することができたり、新たな人と出会うことができたり、毎日がワクワクするようなライフスタイルを日本から世界に提案していくことを目指します。



© avatarin Inc.

avatar core®概念図